

学外研修報告

平成 29 年度 技術職員・技術支援者 研修会（英語）

共通機器部門 共通利用機器管理班 森原なぎさ

1. はじめに(目的等)

学内、学外のようなユーザー対応、特に海外の方への対応について、各大学での取り組みや問題点の提起、意見交換、また装置の故障等についての情報交換を月 1 回程度、分子研や他の大学、研究機関にて開催する。研修は主に英語で行い、実際の対応に当たる場合の対応力についても強化を図る。研修会では英語講師を招き、プレゼンテーションや英語でのトラブルシューティングについて学ぶ。

2. 期間・場所

期間・平成 29 年 9 月 15 日

場所・大阪大学 産業科学研究所 ナノテクノロジー総合研究棟（N315 号室）

3. 参加者等

参加者・6 名

4. 研修内容

「とにかく英語で沢山しゃべる」事をモットーとし、全員参加型、少人数制で行い、キーワード説明、ファンリテーター（司会）、ディスカッションを通して「考えを的確に伝える」「ただ知っている事を羅列するのでは

なく、相手に理解してもらうようにコンタクトを取りながらコミュニケーションを取る」事を練習する。

5. まとめと感想

専門用語を英語で説明することや研究内容を英語でディスカッションすることは難しく、今回の研修ではその訓練ができたと思う。研修後講師の方から、書くより頭の中で考えて話す、単語で話さず主語 + 述語の構成を忘れない、ある内容を意味を変えずに自分の言葉で言い換える Paraphrasing を行うなどのアドバイスをいただいたので、今後の対応に活かしていきたい。